

製品名: RNF138 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17287**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF138 RNF138; NARF; HSD-4; HSD4; E3 ubiquitin-protein ligase RNF138; Nemo-like kinase-associated RING finger protein; NLK-associated RING finger protein; hNARF; RING finger protein 138
別名	
遺伝子 ID	51444.0
SwissProt ID	Q8WVD3
免疫原	抗血清はヒト RNF138 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

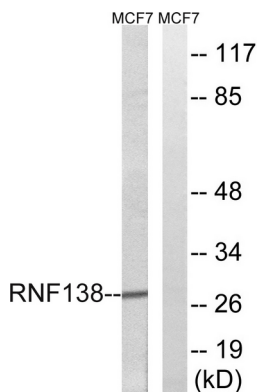
背景

リングフィンガータンパク質 138 (RNF138) ホモサピエンスこの遺伝子によってコードされるタンパク質には、機能的に異なる様々なタンパク質に存在し、タンパク質-DNA およびタンパク質-タンパク質相互作用に関与することが知られている RING フィンガーモチーフが含まれる。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されている。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: RING型ジンクフィンガードメインは、E2 ユビキチン結合酵素への結合を媒介する。機能: E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。NLKとともに、TCF/LEF のユビキチン化および分解に関与する。また、UBE2K と組み合わせて自己ユビキチン化活性を示す。Wnt/ β -カテニンを介したシグナル伝達経路において負の調節因子として機能する可能性がある。経路: タンパク質修飾;タンパク質のユビキチン化。PTM:自己ユビキチン化。PTM:DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性:1つの RING 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット:nlk と相互作用する。、

研究分野

転写;ドメインファミリー;ジンクフィンガー;細胞生物学;タンパク質分解/ユビキチン;プロテアソーム/ユビキチン;ユビキチン E3 酵素;リングフィンガー E3 リガーゼ;エピジェネティクスと核シグナル伝達;細胞周期;ユビキチンリガーゼ

画像データ



MCF-7 細胞ライセートの RNF138 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。